

令和 6 年 6 月 3 日現在

機関番号：15501

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2018～2023

課題番号：18K00479

研究課題名(和文) ジャンルの混交と共感覚 - 20世紀モデルネの文学・絵画の新たな受容

研究課題名(英文) Hybrid Genres and Synesthesia. Interaction between Modern Literature and Painting

研究代表者

Emde Franz (Hintereder-Emde, Franz)

山口大学・その他部局等 ・名誉教授

研究者番号：00209157

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文)：このプロジェクトでは、ドイツ語圏スイスに出自をもつ作家ローベルト・ヴァルザーと画家パウル・クレーの作品群の研究に焦点を当てた。二人はいずれも20世紀前半にそれぞれの創作分野において、文学と絵画という狭い領域を超える、ジャンル横断的な創作技法を新たに生み出し、そうすることで、音楽、映画、演劇など幅広い芸術分野のアーティストに、今日に至るまで影響を与え続けている。文学と絵画という2つの芸術形態の絡み合いと相互浸透を捉えるために、私たちはとりわけ共感覚的表現と語りの相互知覚的側面に焦点を当て、ジャンル混交の分析を行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

個別研究では、様々なジャンルの作品の細部において、生産的な融合を確認することによって、絵画と文学の間にある創造的な緊張関係を明らかにすることに成功した。また、共感覚的表現の知覚横断的側面を分析することにより、新しい表現形式が近代文学と絵画の境界をいかに相互浸透可能なものにしたかを示すことができた。さらに本プロジェクトの一環として、ワークショップ、学術講演会やシンポジウムにおいて多言語による学際的かつ国際的な議論を活発に行った結果、20世紀初期モダニズムにおいて書字テキストと視覚メディアの相互作用に新たな展開が見られたことを、日本、ドイツ、スイスの参加者の間で広く共有することができた。

研究成果の概要(英文)： This project focused on the works of writer Robert Walser and painter Paul Klee, both of whom were born in German-speaking Switzerland. In the first half of the 20th century, they created new cross-genre techniques that went beyond the narrow areas of literature and painting in their respective fields. Their work continues to influence artists in a wide range of artistic fields, including music, film and theatre, to this day. In order to capture the intertwining and interpenetration of the two art forms of literature and painting, we have analysed genre hybridity, focusing in particular on the inter-perceptual aspects of synaesthetic expression and narrative.

研究分野：比較文学、ドイツ文学、日本文学

キーワード：比較文学 翻訳 文学評論 絵画論 問メディア性 インターメディアリティー 翻案 共感覚

## 1. 研究開始当初の背景

本プロジェクトは、高尚文学と通俗文学の複雑な絡み合いや、異なる時代を通じてみられる文学作品の混交的特徴に関するこれまでの文学研究を基盤とし、これをさらに発展させたものである。本研究参加メンバーはこれまで、スイスの作家フリードリヒ・グラウザーやローベルト・ヴァルザーの作品分析に始まり、ヘルマン・ヘッセや夏目漱石、萩尾望都といったドイツ、日本の作家も視野に入れながら、娯楽文学と純文学の境界領域における文学作品の様々な中間形態を分析してきた。

具体的には、ヴァルザーの遺稿小説『盗賊』(1925/1972)については、古典的ジャンルに対するアイロニカルかつ遊戯的關係(主題の先送り、逸脱、風刺、読者の期待の裏切り等)が、またグラウザーの探偵小説においては複数の言語階層(方言、標準語、外国語、職業語)のポリフォニックな混交が、硬直したジャンル形式を脱臼させることにより新たな文学表現に道を拓く、現代文学の特徴であることが確認されていた。また、漱石の「坑夫」(1908)においては、写実小説をあらためて精査し直してゆく、近代的な文章の自己反省の運動(時間層による語り視点の分裂など)が見られることが確認されていた。

これまでの文学研究においては、視覚、聴覚、感覚といった個別の知覚表象領域の境界も、複数ジャンル、複数言語、また意識/無意識を往還することによって相互浸透可能となるという知見が得られており、これが本プロジェクトの主たる出発点となった。これに基づき、本研究プロジェクトでは絵画と文学の間の創造的な緊張関係に焦点を当てることとした。ここには、前述した文学ジャンル間の生産的融合として実証されていることを、さらに複数の芸術ジャンル間における生産的融合の分析に応用するという狙いがあった。物語表現、絵画表現における精緻な形式分析を通じて、近現代の芸術作品においては、文学と絵画の間の境界がより透過的となっていることを明らかにすることが目指された。以上のような研究方針を定めたうえで、文学、絵画の両者の相互作用に焦点を当ててジャンルの混交と知覚の交差、共感的表現の形成を探究する、当プロジェクトを進めることとなった。

## 2. 研究の目的

世紀末の1900年前後、一連の革命的な発見や発明が起こり、これが物質界における産業革命に劣らぬ多大な影響を、知的・哲学的環境に与えることとなった。マウトナー(『言語批判論集』、1901/02年)やニーチェの言語批判、フロイトの精神分析や夢解釈(『夢判断』、1900年)に端を発する言語哲学の始まりだけでなく、日常生活を変えていった電気、写真、映画や音響技術、ラジオ、自動車などの技術革新も、当然ながら、芸術と文学における従来の表現形式に疑問を投げかけた。このような20世紀初期の状況を踏まえ、技術メディアの変容がいかなる形で文学や絵画の変容と結びつきうるのかを問い直した。

本プロジェクトを進めていくために、十二分に検討を重ねた結果、選ばれた研究対象は、造形・絵画分野においてはパウル・クレー、文学分野においてはローベルト・ヴァルザーである。両者はともに独特の創造的スタイルで知られているアーティストである。前衛画家であるクレーは、ヴァイマル共和国時代にはバウハウスの教師も勤め公的立場にあったが、ナチスの政権掌握に伴い「退廃芸術家」の烙印を押された。ローベルト・ヴァルザーは、長編小説を中心に編成された20世紀初頭の文学体制の側から、規範を外れた書き手として批判され続けた作家である。

このような時代背景を考慮しつつ、本研究プロジェクトでは、一方で、当時、広く共有されていた表現の危機に対峙するための反省意識を両者の作品のうちに辿ることを目指すとともに、他方では、文学と絵画さらに音楽という異質なジャンルをポリフォニックに扱う手法や、既存の表象領域を越境する方法を分析することによって、両アーティストにおけるハイブリッドな作品形式を解明することを目指した。そこにおいて、絵画と文学、そして音楽と時間の次元の境界がいかにして、越えられようとしているのかを、異なる領域を研究対象とする研究者の共同研究によって明らかにしようとしたのである。

## 3. 研究の方法

文学研究、美術研究、比較文学研究を横断する本プロジェクトの包括的な目標達成のためには、絵画と文学、さらに音楽と演劇など諸分野を横断する緊密な協力が必要であった。文学研究者だけでなく、美術史研究者も参加し、スイスの文化機関であるローベルト・ヴァルザー・センターとパウル・クレー・センターの協力も得つつ、研究を進めた。

具体的には、スイスのベルンにあるローベルト・ヴァルザー・センターおよびパウル・クレー研究センターの研究者と共同で、必要な場合にはデジタル・メディアも利用しつつ、綿密な研究

会議を繰り返し、それぞれの専門領域に関する知識の交換をはかり、それぞれ個人の限定された専門領域を超えた研究方法の設定と共有が可能となった。数回にわたる集中的なディスカッションにおいては、ヴァルザー作品の映画化（クエイ兄弟による『ベンヤメンタ学院』[1995年]など）、グラフィック・ノベルやイラストレーション（スイス人アーティスト、ティロ・シュタイライフがヴァルザー作品『盗賊』を題材に描いたスケッチ集[2012年]など）、さらにはインスタレーション作品（アーティスト、トーマス・ヒルシュホルンによる『ローベルト・ヴァルザー・スカルプチャー』[2019年]など）における、文学作品の延長線上で生まれた、映像的、絵画的、造形的イメージにおける解釈可能性、表現可能性をめぐって議論された。

また、『R.ヴァルザーの詩 - 音とリズムの翻訳』と題して、ヴァルザーの詩における音とリズムの他言語への翻訳の問題に光があてられたほか、ヴァルザーと夏目漱石の作品を例に、「視覚」と「聴覚」を横断する表現形式の詩学について議論がなされ、具体的な翻訳例をめぐって比較検討が行われることで、あらためてヴァルザーの詩作品の特徴が論じられた。

パウル・クレーは、絵画、音楽、テキストという異なるメディアを横断して創造したが、それぞれの境界を超えるために「テクスチャー」を戦略的要素として意識的に作品に取り入れたことが検証された。これに加えて、夢における出来事の文学的・絵画的表現も、厳格な規範から脱却するための不可欠な媒体として分析された。以上の研究は、次セクションで述べる国際シンポジウムの舞台において、議論と検討を経た成果として発表され、さらに議論が深められた。

本研究プロジェクトでは、絵画と文学の間の創造的な緊張関係について、国際的、学祭的な共同研究の枠組みで、多角的な分析を進めて行った。その結果、異なるジャンルの生産的な融合、また近代文学と絵画さらには他の芸術形式との相互浸透を、共感覚的表現の展開、知覚横断的な物語形式や表象形式の創造といった論点に即して、提示することができた。

#### 4. 研究成果

このプロジェクトの成果を以下に要約する。詩学の共感覚的側面、特に「視覚」と「聴覚」の表現形式について、ローベルト・ヴァルザーと夏目漱石の短編散文や小説を例に研究が進められ、とりわけ、ヴァルザーの詩における音とリズムの翻訳の問題については、『日々はひとつの響き - ヴァルザー＝クレー詩画集』（2018年）で実践された具体的な翻訳例を用いて分析された。『微笑む言葉、舞い落ちる散文』（2020年）は、ほぼ40年にわたるヴァルザーの文学活動全体を横断的に論じ、その特徴と現代世界における意義を説明している。作品分析と翻訳分析を総合した研究方法により、本プロジェクトで議論された問いを包括する研究ともなっている。また、絵画をテーマとしたヴァルザーの散文集の翻訳『絵画の前で—物語と詩』（2021年）では、絵画の枠を越えて新たに展開される言語世界が呈示された。同じく翻訳刊行された『詩人の生』（2021年）は、オートフィクションをふんだんに交えつつ、社会における詩人の役割と戯れる作法で書かれた散文小品集であり、長編小説執筆挫折後のヴァルザー詩学のさらなる展開を認めることができる作品である。作家、編集者、批評家であるカール・ゼーリヒによる作品『ローベルト・ヴァルザーとの散歩』の翻訳は、ヴァルザーとの20年にわたる散歩と会話を記録したもので、晩年の断筆後のヴァルザーの思想が他者の叙述を通じて展開される書物として読むこともできる稀有な作品である。

山口大学人文学部（2021年）や学習院大学（2021年）、東京学芸大学（2023年）および明治大学（2023年）での講演では、クレーの晩年の創作（ナチスから「退廃芸術家」と烙印を押され、故郷スイスに亡命を余儀なくされた後の作品）を紹介し、アイロニカルな視点から社会的・政治的でアクチュアルな状況を克明に観察した創作の芸術的／政治的な意義を解き明かした。これらの講演は、学生だけでなく一般市民にも向けられて行われた。また南山大学で開催された講演会（2023年）では、ヴァルザーとクレーの芸術形式上の革新性とともにも芸術ジャンルを越境するメディア横断性に焦点が当てられた。本プロジェクトでの研究成果は、予定通り国際会議の舞台でも発表された。まず、イタリアのパレルモ大学で開催された国際ドイツ文学会議（IVG）では、オンライン形式で、ヴァルザーの文学における共感覚表現に関する分析が行われた。<sup>1</sup> 続いてICLA 国際比較文学大会（マカオ、2019年）では、異なる視点から共感覚と夢を比較する試みとして、上田秋成の物語『雨月物語』における夢の様々な側面の分析が口頭発表され、学術論文として2021年に刊行された論集に掲載された。ローベルト・ヴァルザーと夏目漱石の作品における「夢と共感覚」のテーマについては、2022年にジョージアのトビリシ市で開催されたICLA 国際比較文学大会での口頭発表において、さらに深めた議論を展開することができた。<sup>2</sup>

本プロジェクトの締めくくりとなったのは、日本独文学会（JGG）の秋季大会（2022年10月8/9日）の一環として開催されたドイツ語による国際オンライン・シンポジウムであった。その成果は、学術論文に仕上げられ、2023年に日本独文学会のオンライン叢書「日本独文学会研究叢書」

1

<https://library.oapen.org/viewer/web/viewer.html?file=/bitstream/handle/20.500.12657/60729/9783034345705.pdf?sequence=1&isAllowed=y> pp. 445.

<sup>2</sup> <https://icla.openjournals.ge/index.php/icla/article/view/5274>

の第 153 号『絵画・テキスト・テクスチャー パウル・クレーとローベルト・ヴァルザーをメディア横断的に読む』として刊行された。この論文集の出版は、本プロジェクトの最終的総括であると同時に、新たな問題提起ともなっている。

研究期間中にパンデミックに見舞われたことにより、一部、予期せぬスケジュールの変更も余儀なくされたが、デジタル・メディアの利用、研究機関の延長などにより柔軟に調整をはかることで、最終的には実りある結果を生み出すことができた。各分野、諸機関の枠を越えた協力のおかげで、プロジェクト・メンバーの研究は、研究論文、書籍、エッセイ、講演などの形で、3カ国語（日本語、ドイツ語、英語）にわたる成果出版物の形で公開されている。ローベルト・ヴァルザー・センター、パウル・クレー・センター、かわさき市民大学などの文化機関の協力により、大学の枠を超えたワークショップやレクチャーの形で市民を含めた一般社会にも研究成果を還元し、一定の社会貢献も果たすこともできた。

本プロジェクトの成果の延長上で展開される、近現代スイスの文化・芸術をめぐる、次期の研究課題『戦略としての「素朴さ」—20 世紀スイスの文学・芸術に関するメディア横断的研究』においては、絵画、造形芸術分野の研究者との連携をさらに緊密にするとともに、在スイス研究者との連携も強化し、ここでの議論をさらに深めていく予定である。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計38件（うち査読付論文 17件 / うち国際共著 12件 / うちオープンアクセス 23件）

1. 著者名 新本史育	4. 巻 10
2. 論文標題 「言語の野生化」、あるいは、ローベルト・ヴァルザーにおける散文と韻文の対話	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 right margin 英詩研究会10周年記念雑誌	6. 最初と最後の頁 118-127
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 若林恵	4. 巻 135
2. 論文標題 交差する画家と詩人 - ヴァルザー兄弟の絵と言葉	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 世界文学	6. 最初と最後の頁 86-95
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 若林恵	4. 巻 54/2
2. 論文標題 ローベルト・ヴァルザーの散文テキスト『画家』における間メディア性と共感覚表現	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 武蔵大学人文学会雑誌 ( <a href="http://hdl.handle.net/11149/2502">http://hdl.handle.net/11149/2502</a> )	6. 最初と最後の頁 157-176
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Hintereder-Emde, Franz	4. 巻 44
2. 論文標題 Kulturhistorische Aspekte von Johanna Spyris 'Heidi'	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 山口大学独仏文学 Yamaguchi Daigaku Dokufutsu Bungaku (ISSN 0387 - 6918)	6. 最初と最後の頁 1-24
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Hintereder-Emde, Franz	4. 巻 4
2. 論文標題 Atmosphärisches Schreiben bei Robert Walser - Synaesthesie in der literarischen Darstellung	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Akten des XIV. Kongresses der Internationalen Vereinigung fuer Germanistik (IVG)	6. 最初と最後の頁 445-453
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3726/b19958	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hintereder-Emde, Franz	4. 巻 5
2. 論文標題 Ghost Dreams. Tales of Moonlight and Rain (Ugetsu Monogatari) by Ueda Akinari and Mizoguchi Kenji	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Cultural Dream Studies: Typologizing the Dream / Le Reve du point de Vue Typlogique	6. 最初と最後の頁 53-83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 ヒンターエーダー=エムデ、フランツ	4. 巻 43
2. 論文標題 書評：ローベルト・ヴァルザー 著、若林恵 訳「絵画の前で - 物語と詩」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Flaschenpost Nr. 43, ゲルマニスティネンの会	6. 最初と最後の頁 15-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kakinuma, Marie	4. 巻 11
2. 論文標題 "Gespaltene" Werke bei Paul Klee II	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Zwitscher-Maschine. Journal on Paul Klee / Zeitschrift fuer internationale Klee-Studien 4	6. 最初と最後の頁 29-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kakinuma, Marie	4. 巻 -
2. 論文標題 Paul Klee (1879 Muenchenbuchsee - 1940 Muralto)	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Kunst und Leben 1918 bis 1955. Staedtische Galerie im Lenbachhaus und Kunstbau, Muenchen	6. 最初と最後の頁 164 - 167
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kakinuma, Marie	4. 巻 10
2. 論文標題 "Gespartene" Werke bei Paul Klee	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Zwitscher-Maschine. Journal on Paul Klee / Zeitschrift fuer internationale Klee-Studien	6. 最初と最後の頁 35-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 新本史育	4. 巻 146
2. 論文標題 仲介者, 読者, そして作者、カール・ゼーリヒ『ローベルト・ヴァルザーとの散策』を翻訳論的視点から読む	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 文芸研究 146号	6. 最初と最後の頁 66-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 柿沼万里江	4. 巻 16
2. 論文標題 故郷への亡命 パウル・クレール晩年の創作とその芸術的 / 政治的意義	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 異文化研究 (山口大学人文学部異文化交流研究施設)	6. 最初と最後の頁 73-104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Niimoto, Fuminari	4. 巻 5
2. 論文標題 "das junge jakobli laesst den alten jakob gruessen"; Poetik im Dazwischen der Sprachen und jenseits der Sprache in Friedrich Glausers Kriminalroman 'Die Fieberkurve'	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Dialogues between Media vol. 5 / de Gruyter. pp. 665, ISBN: 978-3-11-064153-0	6. 最初と最後の頁 227-234
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/9783110642056-018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Wakabayashi, Megumi	4. 巻 5
2. 論文標題 Schulromane von Robert Walser und Natsume Soseki: Hybride Darstellungsformen zwischen "hoch und niedrig"	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Dialogues between Media vol. 5 / de Gruyter. pp. 665, ISBN: 978-3-11-064153-0	6. 最初と最後の頁 275-286
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/9783110642056-022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hintereder-Emde, Franz	4. 巻 5
2. 論文標題 Das Innovative hybrider Literatur am Beispiel Robert Walser	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Dialogues between Media vol. 5 / de Gruyter. pp. 665, ISBN: 978-3-11-064153-0	6. 最初と最後の頁 179-192
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/9783110642056-014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 若林恵	4. 巻 72
2. 論文標題 額縁を超え出る言葉 : ローベルト・ヴァルザーの絵画テキストを読む	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 東京学芸大学紀要 人文社会科学系I Vol. 72	6. 最初と最後の頁 63-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Hintereder-Emde, Franz	4. 巻 4
2. 論文標題 The Dream in Japanese Noh Drama	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cultural Dream Studies 4 / Mediating the Dream / Les Genres et Medias du Reve	6. 最初と最後の頁 429-447
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 ヒンターエーダー=エムデ・フランツ	4. 巻 41
2. 論文標題 書評：日々はひとつの響き ヴァルザー=クレイ詩画集	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Flaschenpost 41、ゲルマニスティネンの会	6. 最初と最後の頁 14-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hintereder-Emde, Franz	4. 巻 42
2. 論文標題 Natsume Soseki, Das Leben (1896) - Einfuehrung und Uebersetzung	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 山口大学独仏文学 Yamaguchi Daigaku Dokufutsu Bungaku (ISSN 0387 - 6918)	6. 最初と最後の頁 39-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kakinuma, Marie	4. 巻 9
2. 論文標題 "Das Neue Tage-Buch"; Paul Klee und Hans Kayser im Schweizer Exil, 1933-1935	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Zwitscher-Maschine. Journal on Paul Klee / Zeitschrift fuer internationale Klee-Studien, Nr. 9	6. 最初と最後の頁 13-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 柿沼万里江	4. 巻 10
2. 論文標題 エッセイ: パーゼル美術館	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Edelweiss 美のプリズム Vol.10	6. 最初と最後の頁 6-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柿沼万里江	4. 巻 11
2. 論文標題 エッセイ: アルノルト・ベックリンの光と闇	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Edelweiss 美のプリズム Vol.11	6. 最初と最後の頁 6-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柿沼万里江	4. 巻 12
2. 論文標題 エッセイ: Fernweh	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Edelweiss 美のプリズム Vol.12	6. 最初と最後の頁 6-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ヒンターエーダー = エムデ・フランツ	4. 巻 14
2. 論文標題 20世紀をさまよう白雪姫 ジェンダー意識に目覚める姫	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 異文化研究 (山口大学人文学部異文化交流研究施設)	6. 最初と最後の頁 24-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kakinuma, Marie	4. 巻 1
2. 論文標題 Der Spaziergang in Paul Klees kuenstlerischem Schaffen	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 "Spazieren muss ich unbedingt" Robert Walser und die Kultur des Gehens	6. 最初と最後の頁 167-185
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kakinuma, Marie	4. 巻 7
2. 論文標題 Transparency and Opacity: Recto-Verso Works by Paul Klee	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Zwitscher-Maschine. Journal on Paul Klee / Zeitschrift fuer internationale Klee-Studien	6. 最初と最後の頁 4-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kakinuma, Marie	4. 巻 7
2. 論文標題 Eine neu entdeckte Zeichnung auf der Rueckseite des Werks Traeger fuer ein Schild	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Zwitscher-Maschine. Journal on Paul Klee / Zeitschrift fuer internationale Klee-Studien	6. 最初と最後の頁 62-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 新本史音	4. 巻 1
2. 論文標題 「小ささ から生まれる世界文学 20 世紀ドイツ語圏スイスの作家ローベルト・ヴァルザーを読む」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 國學院大學文学部共同研究「スイスの多言語状況とその文化面における影響」	6. 最初と最後の頁 8-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hintereder-Emde, Franz	4. 巻 41
2. 論文標題 Antagonistische Dynamik der Identitätsproblematik in Natsume Sosekis "Der Bergmann": Individuum, Wahrnehmung und Poetik	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 山口大学独仏文学 Yamaguchi Daigaku Dokufutsu Bungaku (ISSN 0387 - 6918)	6. 最初と最後の頁 29-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 松嶋 功記	4. 巻 1
2. 論文標題 スイスの「克服されざる過去」とマックス・フリッシュ	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 國學院大學文学部共同研究「スイスの多言語状況とその文化面における影響」	6. 最初と最後の頁 116-132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 HINTEREDER-EMDE, Franz	4. 巻 153
2. 論文標題 Naehar an der Sprache: Aspekte des Atmosphaerischen in Robert Walsers Poetik	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本独文学会研究叢書 第153号 / Studienreihe der Japanischen Gesellschaft fuer Germanistik 153	6. 最初と最後の頁 5-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 WAKABAYASHI, Megumi	4. 巻 153
2. 論文標題 Thematische und poetologische Grenzüberschreitungen zwischen Malerei und Dichtung in Robert Walsers "Fritz Kocher's Aufsätze"	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本独文学会研究叢書 第153号 / Studienreihe der Japanischen Gesellschaft fuer Germanistik 153	6. 最初と最後の頁 20-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 NIMOTO, Fuminari	4. 巻 153
2. 論文標題 Kuenstlerbild und Poetenleben oder Warum Robert Walser immer wieder die Darstellenden darstellt	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本独文学会研究叢書 第153号 / Studienreihe der Japanischen Gesellschaft fuer Germanistik 153	6. 最初と最後の頁 30-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 SORG, Reto	4. 巻 153
2. 論文標題 'Die Gebirgigmachung des Rahmens' oder Robert Walsers 'Kunstschriftstellerei'	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本独文学会研究叢書 第153号 / Studienreihe der Japanischen Gesellschaft fuer Germanistik 153	6. 最初と最後の頁 38-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 KAKINUMA, Marie	4. 巻 153
2. 論文標題 Bild, Musik, Text und Textur - Paul Klees medienuebergreifendes kuenstlerisches Schaffen -	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本独文学会研究叢書 第153号 / Studienreihe der Japanischen Gesellschaft fuer Germanistik 153	6. 最初と最後の頁 47-60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 文学部教授	4. 巻 13
2. 論文標題 Nell Walde - Strategien einer Sammlerin moderner und aussereuropaeischer Kunst. Vom Erfolg ueber das Exil zur Etablierung, 1912 - 956	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Zwitscher-Maschine. Journal on Paul Klee / Zeitschrift fuer internationale Klee-Studien	6. 最初と最後の頁 52-106
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 HINTEREDER-EMDE, Franz	4. 巻 9
2. 論文標題 Sense-less Dreams Free Senses - Synesthetic Aspects of Dreams and Dream-Like Writing with a Look at Robert Walser and Natsume Soseki	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Cultural Dream Studies 9 / Making - or not Making - Sense of Dreams / Trouver - ou non - un Sens au Reve	6. 最初と最後の頁 103-131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計44件 (うち招待講演 12件 / うち国際学会 13件)

1. 発表者名 Niimoto, Fuminari
2. 発表標題 Kuenstlerbild und Poetenleben oder Warum Robert Walser immer wieder die Darstellung darstellt
3. 学会等名 日本独文学会秋季研究発表会 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 若林 恵
2. 発表標題 書く画家：ローベルト・ヴァルザーの間メディア性
3. 学会等名 科研「ジャンルの混交と共感覚」研究発表会 (山口大学) 2023/1/21
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Wakabayashi, Megumi
2. 発表標題 Thematische und poetologische Grenzüberschreitungen zwischen Malerei und Dichtung in Robert Walsers 'Fritz Kocher's Aufsätze. "
3. 学会等名 日本独文学会秋季研究発表会 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Hintereder-Emde, Franz
2. 発表標題 Naheher an der Sprache: Aspekte des Atmosphaerischen in Robert Walsers Poetik
3. 学会等名 日本独文学会秋季研究発表会 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Hintereder-Emde, Franz
2. 発表標題 Sense-less Dreams Free Senses - Synesthetic Aspects of Dreams and Dream-Like Writing with a Look at Robert Walser and Natsume Soseki
3. 学会等名 国際比較大会トピリン (ICLA 2022) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Sorg, Reto
2. 発表標題 'Die Gebirgigmachung des Rahmens' oder Robert Walsers 'Kunstschriftstellerei'
3. 学会等名 日本独文学会秋季研究発表会 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Kakinuma, Marie
2. 発表標題 Bild, Musik, Text und Textur - Paul Klees medienuebergreifendes kuenstlerisches Schaffen -
3. 学会等名 日本独文学会秋季研究発表会 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 柿沼万里江
2. 発表標題 絵画、音楽、テキスト、テクスチャー メディアを横断するパウル・クレーの創造
3. 学会等名 学習院大学ドイツ語圏文化学科
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 柿沼万里江
2. 発表標題 故郷への亡命 パウル・クレー晩年の創作とその芸術的 / 政治的意義
3. 学会等名 東京学芸大学
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 柿沼万里江
2. 発表標題 Rueckblick/Ausblick des Projekts " Genvermischung und Synaesthesie - Literatur und bildende Kunst: Neue Rezeption der Moderne im 20. Jahrhundert " 2018-2023
3. 学会等名 科研「ジャンルの混交と共感覚」研究発表会（山口大学）2023/1/21
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 柿沼万里江
2. 発表標題 故郷への亡命 パウル・クレー晩年の創作とその芸術的 / 政治的意義
3. 学会等名 異文化交流研究施設、山口大学人文学部（招待講演）
4. 発表年 2021年



1. 発表者名 Hintereder-Emde, Franz
2. 発表標題 Atmosphärisches Schreiben bei Robert Walser. Synaesthesie in der literarischen Darstellung
3. 学会等名 Internationale Vereinigung fuer Germanistik (IVG) 国際ドイツ言語文学会 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 若林 恵
2. 発表標題 カール・ヴァルザーの絵画を語るローベルト・ヴァルザー
3. 学会等名 スイス文学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 新本史育
2. 発表標題 仲介者、翻訳者、そして作者 - カール・ゼーリヒの『ローベルト・ヴァルザーとの散策』を翻訳論的視点から読み解く
3. 学会等名 スイス文学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kakinuma, Marie
2. 発表標題 Nell Walden und ihre ethnologische Sammlung
3. 学会等名 Deposita. Verfolgungsbedingte Kulturverlagerung und die Folgen fuer Schweizer Museen
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kakinuma, Marie
2. 発表標題 Paul Klee's situation between the First and the Second World Wars
3. 学会等名 The Cerruti Collection. Catalogue, Castello di Rivoli Museo d'Arte Contemporanea
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kakinuma, Marie
2. 発表標題 Meine Lieblingswerke in der Sammlung Rosengart
3. 学会等名 Mit anderen Augen gesehen. Zum 20-jaehrigen Jubilaeum des Museums Sammlung Rosengart
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 新本史斉
2. 発表標題 Ins Japanische Uebersetzen heisst Ins Bildliche Umsetzen -Uebersetzungsstrategien im Umgang hochrhetorischer Schweizer Literatur der Moderne
3. 学会等名 Centre de traduction litteraire de Lausanne: Lectures et Rencontres "Bild-Uebersetzung" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Wakabayashi, Megumi
2. 発表標題 Robert Walsers Modernitaet: Musik, Roman und Gedicht
3. 学会等名 Robert Walser-Sculpture, Biel (Suisse) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Niimoto, Fuminari
2. 発表標題 Warum ist Robert Walser so wichtig -- auch in Japan?
3. 学会等名 Robert Walser-Sculpture, Biel (Suisse) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hintereder-Emde, Franz
2. 発表標題 Synaesthetic narration: Robert Walser 's experiments with language
3. 学会等名 ICLA (International Comparative Literatur Association) Macau Congress (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hintereder-Emde, Franz
2. 発表標題 Ghost Dreams: Tales of Moonlight and Rain (Ugetsu Monogatari) by Ueda Akinari (1776) and Kenji Mizoguchi (1953)
3. 学会等名 ICLA (International Comparative Literatur Association) Macau Congress (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松鶴功記
2. 発表標題 スイスの「克服されざる過去」とマックス・フリッシュ
3. 学会等名 國學院大學文学部共同研究「スイスの多言語状況とその文化面における影響」(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松鷗功記
2. 発表標題 チューリヒ劇場（ナチス亡命者と精神的国土防衛）
3. 学会等名 かわさき市民アカデミー（市民講座）「世界を旅する(21)スイス・ツアー」（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 若林恵
2. 発表標題 スイスという国：原初三州～連邦成立
3. 学会等名 かわさき市民アカデミー（市民講座）「世界を旅する(21)スイス・ツアー」（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 新本史斉
2. 発表標題 小ささ から生まれる世界文学 20 世紀ドイツ語圏スイスの作家ローベルト・ヴァルザーを読む
3. 学会等名 國學院大學文学部共同研究「スイスの多言語状況とその文化面における影響」（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 新本史斉
2. 発表標題 スイスの文学 小さな国から生まれる世界文学
3. 学会等名 かわさき市民アカデミー（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 柿沼万里江
2. 発表標題 「スイスの美術と美術館」
3. 学会等名 かわさき市民アカデミー（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 柿沼万里江
2. 発表標題 「スイスの美術と美術館」
3. 学会等名 武蔵大学（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kakinuma Marie
2. 発表標題 Curt Valentin Photographic Albums zu Werken Paul Klees und sein Buchhaltungssystem
3. 学会等名 Provenienzforschungsworkshop im Zentrum Paul Klee, Bern
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 若林恵
2. 発表標題 ローベルト・ヴァルザーの詩－響き・リズムを翻訳する
3. 学会等名 科研費基盤研究(C) 科研研究会(山口大学)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 新本史育
2. 発表標題 Ein zweites Leben nach dem Tod. Tilo Steireifs Aquarellserie zu 'Der Raeuber' lesen.
3. 学会等名 科研費基盤研究(C) 科研研究会(山口大学)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松鷗功記
2. 発表標題 ローベルト・ヴァルザーの小説「Jakob von Gunten」の映像化：映画『ベンヤメンタ学院』をめぐる
3. 学会等名 科研費基盤研究(C) 科研研究会(山口大学)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Franz Emde
2. 発表標題 Wort, Reim und Klang: Das 'Malen mit Sprache' bei Robert Walser und Natsume Soseki
3. 学会等名 科研費基盤研究(C) 科研研究会(山口大学)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 柿沼万里江
2. 発表標題 パウル・クレー 詩的言語とイメージとの交錯
3. 学会等名 科研費基盤研究(C) 科研研究会(山口大学)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 新本史育
2. 発表標題 「自伝と虚構 - イルマ・ラクーザ『もっと、海を』を翻訳論から読み解く」
3. 学会等名 スイス文学会,津田塾大学千駄ヶ谷キャンパス
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hintereder-Emde, Franz
2. 発表標題 Dream in Japanese Mugen Noh Dramas
3. 学会等名 Mediating the Dream. Les genres et medias du reve. International Symposium, Saarbruecken, (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松鶴功記(訳)
2. 発表標題 「フラウ シュミッツ Frau Schmitz」
3. 学会等名 上演劇団: Shelf (7/26・28) ドイツ文化会館ホール
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松鶴功記(訳・ドラマトゥルク)
2. 発表標題 マックス・フリッシュ作「ピーダーマンと放火犯たち」
3. 学会等名 プレヒトの芝居小屋
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 柿沼万里江、若林恵
2. 発表標題 ヴァルザーの言葉 / クレーの絵 : メディアを横断する芸術創造
3. 学会等名 南山大学ヨーロッパ研究センター、外国語学部ドイツ学科
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 若林恵
2. 発表標題 読書・夢想・音楽 - カール・ヴァルザーの絵画とローベルト・ヴァルザーの散文
3. 学会等名 スイス文学会研究発表会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 Kakinuma, Marie
2. 発表標題 Klee in Sils Baselgia 1930 / Klee im Exil 1933-1940
3. 学会等名 14. Silser Kunst- und LiteraTourtage
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 柿沼万里江
2. 発表標題 ナチスの文化政策とドイツ美術の越境
3. 学会等名 明治大学ドイツ文学部
4. 発表年 2023年



〔図書〕 計6件

1. 著者名 カール・ゼーリヒ (著), 新本 史斉 (訳)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 白水社	5. 総ページ数 274
3. 書名 ローベルト・ヴァルザーとの散策	

1. 著者名 新本史斉、ローベルト・ヴァルザー	4. 発行年 2021年
2. 出版社 鳥影社	5. 総ページ数 209
3. 書名 ローベルト・ヴァルザー：詩人の生	

1. 著者名 若林恵、ローベルト・ヴァルザー	4. 発行年 2021年
2. 出版社 鳥影社	5. 総ページ数 172
3. 書名 絵画の前で	

1. 著者名 新本史斉	4. 発行年 2020年
2. 出版社 鳥影社	5. 総ページ数 400
3. 書名 『微笑む言葉、舞い落ちる散文』	

1. 著者名 若林恵、柿沼万里江編、松鶴功記 (訳、解説)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 平凡社	5. 総ページ数 179
3. 書名 日々はひとつの響き: ヴァルザー=クレール詩画集	

1. 著者名 Hintereder-Emde, Franz	4. 発行年 2023年
2. 出版社 日本独文学会研究叢書 第153号 / Studienreihe der Japanischen Gesellschaft fuer Germanistik 153	5. 総ページ数 68
3. 書名 Bild, Text, Textur bei Paul Klee und Robert Walser / Versuch einer intermedialen Lektuere	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>ジャンルの混交と共感覚 20世紀モデルネの文学・絵画の新たな受容  Hybride Genres und Synaesthesia. Wechselwirkung zwischen moderner Literatur und Malerei  Hybrid genres and synaesthesia. Interaction between modern literature and painting  <a href="http://moderne-20.swisslit.org">http://moderne-20.swisslit.org</a></p>
---

6. 研究組織			
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	若林 恵  (Wakabayashi Megumi)  (00293001)	東京学芸大学・教育学部・教授     (12604)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	新本 史斉  (Niimoto Fuminari)  (80262088)	明治大学・文学部教授	
研究協力者	松鶴 功紀  (Matsuu Koki)	武蔵野大学・非常勤	
研究協力者	ゾルク レート  (Sorg Reto)	Robert Walser Zentrum・館長	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計2件

国際研究集会 Bild, Text, Textur bei Paul Klee und Robert Walser / Versuch einer intermedialen Lektüre 絵画・テキスト・テクスチャー / パウル・クレーとローベルト・ヴァルザーをメディア横断的に読む	開催年 2022年～2022年
国際研究集会 スイスのLooren翻訳施設 : Robert Walser und Paul Klee: Moderne und Synaesthésie	開催年 2019年～2019年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関		
スイス	Robert Walser-Zentrum	Zentrum Paul Klee	